

平成30年 夏の平和展

「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」展によせて

本会「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」は、今年で結成13年目をむかえます。

これまで県内各地の戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせ、県内航空遺産をはじめ戦時資料（絵本・玩具・空襲資料等）の調査・研究・検証を進めて、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」を進めてきました。

2018年（平成30年）夏の平和展は、熊本市立図書館様と共催で、平成30年7月10日（火）～8月26日（日）までの期間、宇城市在住の松山強氏の戦時資料、計70点を紹介します。

この企画は、平成29年6月熊本市東区画図町下無田で米軍投下の大型の不発弾「M76」が落下し、7発の弾が命中した。この不発弾は、沖繩に投下された後、戦時資料として保存されている。この不発弾は、平成29年6月熊本市東区画図町下無田で米軍投下の大型の不発弾「M76」が落下し、7発の弾が命中した。この不発弾は、沖繩に投下された後、戦時資料として保存されている。

この様なことから、今回の展示会は「73年前の熊本空襲」に焦点をあて、空襲に関する絵本や銃後の戦時資料を通して空襲の様子を、また、迎えうった日本海軍飛行兵の軍装品展示から、昭和20年の「熊本空襲」を描きます。

これらの展示を通して、「戦争の実相を知り、平和の大切さ」を感じとり、熊本空襲の姿を知っていただく機会となるよう祈っています。



展示の戦時絵本 『てつき さあこい』



展示の戦時資料 幼児用「防空ずきん」



平成30年7月10日

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

代表 高谷和生